

心房細動患者における腎機能の動向とその関連因子に関する研究

1. 研究の対象

2011年4月から2017年12月31日に心房細動を有し、脳塞栓症の予防のために当院で初めて新規経口抗凝固薬(プラザキサ・エリキュース・リクシアナ・イグザレルト)による抗凝固療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

抗凝固療法中の心房細動患者において、抗凝固療法の効果と安全性に影響する腎機能に関する観察を行い、腎不全の新規発症と腎機能の変動に関連する因子を特定し新規抗凝固薬の適正使用に有用なデータを蓄積することを目的とします。3年間の腎機能の追跡評価を経時的に行い、腎機能評価には通常の外来診療における範囲内で得られた既存情報を利用します。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から人口統計学的情報(年齢・性別・身長・体重)、病歴(心不全・高血圧症・糖尿病・心房細動の持続時間・脳卒中の既往)、投薬歴(アンジオテンシン変換酵素阻害薬・アンジオテンシン受容体遮断薬・利尿薬・抗凝固薬)、血液検査、経胸壁心エコー検査結果を抽出します。尚、本学単独研究であるため、本学外への提供や二次利用は行いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

TEL: (072) 366-0221 (代表) 循環器内科 永野兼也

研究責任者：

近畿大学病院 心臓血管センター 教授 栗田隆志